



つくばイチゴつうしん 20号

令和2年7月発行

つくば地域農業改良普及センター

このお知らせは、つくば地域イチゴ経営研究会会員、つくば地域農業改良普及センター管内でイチゴを生産されている方に管内イチゴ栽培の情報共有を図る目的で配布しています。

* つくば地域イチゴ経営研究会員がいちごグランプリ大賞・銀賞を受賞！

第8回いちごグランプリで、当地域イチゴ経営研究会の会員が受賞しました。

部門	お名前（地域）	受賞名
いばらキッスの部	酒井成人（つくば市）	大賞
いばらキッスの部	田村寛（つくば市）	金賞

* 県オリジナル品種「いばらキッス」を栽培してみませんか。

茨城県オリジナル品種「いばらキッス」と「ひたち姫」の親苗購入は毎年12月～1月に受付しています。「いばらキッス」は良食味・果実の形状が良い、などの特徴を備えた品種で、生産面積や生産量が拡大しています。興味のある方は「いばらキッス」栽培に取り組んでみてはいかがでしょうか？

いばらキッスの親苗は生産面、販売面で一定の条件を満たした県内の生産者のみ購入可能です。いばらキッスの栽培について詳しくは普及センターまでお問い合わせ下さい。※苗の数量には限りがあり、注文数に応えられないことがあります。

* 花芽検鏡について

花芽分化は低温・短日条件で誘導されます。花芽の形成前に定植すると、若返り現象で花芽が分化されず、葉が連続して発生し収穫開始が遅れます。例年、8月下旬以降が高温傾向となっており高温は花芽分化の遅れとばらつきを引き起こします。※「いばらキッス」は、「とちおとめ」よりも花芽分化が遅く、ばらつきやすいと言われています。

定植適期を判断するためには、検鏡により出蕾までの葉数と花芽分化程度を確認することが重要となります。普及センターでは9月上旬から随時、花芽検鏡を行っています。検鏡の時期は混み合いますので、持参する前に普及センター担当まで電話にてご一報いただければと思います。（花芽検鏡は1株だけでは判断が難しいので、1品種3株程度をご持参ください）。

裏面に続きます

問合せ先：つくば地域農業改良普及センター
TEL029-836-1109
FAX029-836-1816 担当 吉田, 小松崎

* 今後の気象状況について

(1) 気温と降水量

気象庁の3か月予報（関東甲信地方）

※7月16日時点

	7月	8月	9月
気温	平年並みか高い	平年並か高い	高い
降水量	多い	平年並か少ない	ほぼ平年並

7月～9月は、平年よりも気温が高い予報が発表されています。

(2) 日照時間

8月上旬まで曇りや雨の日が多く日照時間は平年並みか少ない予報です。

⇒気温と湿度が高く、病害が発生しやすい環境です。病虫害防除を徹底しましょう。

* 炭疽病の発生を防ぐ

- ・定期的な薬剤散布（7日～10日）により、炭疽病の発生を防除しましょう。

※特にいばらキスは炭疽病に注意し、予防的な防除が必要です。